

のはら組便り

9月の様子と大事にしている事

夏の暑さも過ぎ去り、秋の涼しさがやってきましたね。

9月に1名入り、のはらは6名になりとても賑やかになりました！

朝はマッサージをして個々の身体の中心から指先を暖め、ほぐす。そして布おむつを使っている子は布に替え、おやつを食べたら散歩に出発がルーティンです。マッサージは「マッサージしても良いですか？」と、おむつ替えは「替える人どうぞ。」と誘って来てくれた子から行っています。おやつも席を用意したり歌を歌うと1人また1人と席に来てくれます。どれも子どもの意志を重視し、無理矢理に連れて行くことはしません。しっかりと子どもと向き合う事は赤ちゃんの時から大事なのです。

散歩は毎日ふれあい公園に行きました。(他園がいる時はふれあい公園横の歩道、プリン公園へ行きました。)ベビーカーを見ると寄って来る子から、ベビーカーの前のガードを取ってあげると遅く自分で乗る子どもがいます。

公園先ではボールを追いかけたり投げたり。カップに砂を入れたり、ベンチに座ったり、ぐるっと歩き回ったりと視野を広げて良く動く様になりました。暑い日は小さな水遊びをしました。水遊びはみんな大好きで毎回良い笑顔を見せてくれます。

食事、入眠も安定しています。

ただ気になるのが食べ方です。手掴みを避けてスプーンを異様に欲しがったり、持っても柄の先を持って食べる姿があります。スプーンが決してダメとは言いませんが、指先の為にももう少し手掴みで食べて欲しいな、と思いますし、1番の理由は柄を持つからです。乳児のスプーンの使い方はしっかりと親指を外にしてグーで握り、スナップを使ってご飯をすくって食べる。(下の絵の持ち方です)

また持ち方に加えて親指を外に出すのも重要で、親指は手足共に第二の心臓、脳と言われるほど大事な指で、出す、使う事がとても大事になります。

スプーンの正しい持ち方が自然と出来ないのは、手首のスナップが出来ないからです。上手く使えないから柄を持ってしまいます。公園でカップに砂や水を入れてひっくり返す遊びを繰り返す中で手首のスナップを学び、スプーンが初めて使える様になります。欲しがってスプーンを渡しても構いませんが、最初はスプーンを見せず自分で食べられる所まで見守ってあげてください。教えることも大事ですが、身体がしっかりと育っていれば自然と正しい使い方が出来るんですよ。

午後は斜面遊びやふれあい遊びを中心に行っています。朝の会が朝に出来ないので午後『午後の会』を行っています。大人の膝に子どもが乗り、大型バスやおんまはみんななどの歌で揺れて楽しみ、お名前を呼んで手を挙げます。(下の写真が膝の上でのふれあい遊びです)

斜面は高バイで登ったり滑ったり。梯子も時々低い位置で取り入れています。登れる子もいれば上手に梯子の棒と棒の間に足をを入れていく子といます。

排泄面では成功する子、おまるに座ることを意識し出す子と様々です。無理にではなく、自然と学ぶことを大事にしています。



※お顔を写らない様にしています。



10月のねらい

- ・集団の生活リズムにも慣れ、自分の持ち物やお友達への興味が出る。
- ・絵本の読み聞かせや日々の向き合いで単語がで始める。
- ・様々な感触(お花、虫等)を積極的に触れていったり、公園内の探索を楽しむ。

10月の絵本・歌・手遊び

- ・だるまさんと ・おふとんかけたら ・おやこでぎゅ
- ・やきいも ・とんぼのめがね ・まつぼっくり
- ・とんとんひげじいさん ・ゲンコツ山のたぬきさん

※お知らせ※少しずつ冷えてきています。掛け布団のカバーをご用意下さい。